

今秋、画期的な本がコンボより発売されました！

タイトルは『生きづらさをひも解く、私たちの精神疾患』

体験者だけが書いた全く新しい精神疾患の教科書との副題がついています

精神疾患に関する本は、今迄は精神科医などが病気の症状、他をまとめた物がほとんどです。この種の当事者達による本の出版は（個人的な病気の体験記を除いては）世界初でしょう。早速一読してみました。（正直よくわからない所もあり、再読したいと思っていますが）印象に残ったことは、生きづらさを抱える当事者が、いい感じの自分になるためには「自己決定」が絶対必要だとの執筆当事者たちの主張です。よく言われる「リカバリー」についても、お医者さんや支援者のイメージとは異なっています。病気の家族を理解するために一読の価値があると思いました。ぜひ2πrの図書にも入れてもらいたいです



[報告]

*10/19 (木) 13:30~15:30 第3回「菜の花サロン」 ぱれっとにて

*10/31 (火) 14:00~16:00 厚木保健所主催：第2回家族と当事者の生活を考える教室
第2回家族と当事者の生活のヒント 厚木合同庁舎4階AB会議室 (4名参加)

*11/8 (水) 海老名市障がい者福祉計画 第7期策定委員会

*11/11 (土) 13:00~16:00 じんかれん 第49回県民の集い in 小田原 小田原三の丸ホール
「ピアサポートの輪をひろげよう！仲間があなたを支えます」
講演 聖学院大学教授 相川章子氏 / シンポジウム (4名参加)

[予定]

*11/19 (日) 市民祭り 休憩所当番 今年もIさんがやっけてくださいます。

*12/3 (日) 11:00~13:00 大段さんの当事者のための料理教室 中新田コミセン 500円
“一品持ち寄りクリスマスパーティ” 参加希望者はIさんまで

* 海老名市こころのバリアフリー 2023 × e - s p o r t s

12/9 (土) 13:00~16:00 今泉小学校 体育館・新校舎

1、「全盲のe-sportsプレイヤー、NAOYAさんと対戦してみよう」

2、保護者向けセミナー 「ネット犯罪から身を守る」 (回覧チラシ参照)

*12/11 (月) イオン黄色レシートキャンペーン ぜひお買い物をしてレシートを2πrポストへ
2πrに集まったレシートの1パーセントがそっくり2πrに還元されます。

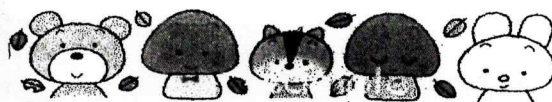
*12/23 (土) 13:00~15:00 つばさクリスマス会 福祉会館1F広間 (回覧チラシ参照)

*1月定例会で久しぶりに新年会をやりたいと役員会では考えています。

次回定例会 12月9日 (土) 10:30~12:00 第3会議室 (午後心のバリアフリー)

人の迷惑を省みずにお届けしてます【気まぐれ刊】

シリーズ『ミスターXは考える』



(「らしく」の薄らぐご時世だから)

『統合失調症「らしく」生きれないか?』

(「らしく」は「生」の原点です)

『赤信号、みんなで渡れば怖くない!』は一世を風靡?した流行言葉だが、最近はずっとバージョンアップ?して『赤信号!一人で渡っても怖くない!』のご時世になってしまった。信号待ちをしてる私の横を何の抵抗(低考)?躊躇いもなく赤信号を威風堂々?と渡る人達を見ると「あれ?私が間違っているのか?」と一瞬戸惑う事もある。所でその『信号虫』の『移り変わり』を皆さんはご存知だろうか?昔の信号虫は圧倒的に若者達が多かった。しかし昨今の『虫』は年寄りが多い。何故か?尤も若い虫なら『虫』していいと言う訳ではないが、人生(社会)経験の浅い(未熟な)若い虫は、有史以来?世俗の掟(決まり事)を守るのが苦手だった。そこで世間は「若気の至り」と言う言葉を「用意」して「優遇?」して来た。随分と若い虫には寛大だな?と思うかも知れないが、それには訳がある。正しくは「あった」。昔はこの様な世俗に反する行為は歳を取れば自然と直ったからだ。その証拠に年配者には『亀の甲より年の功』と言う言葉で敬意を表した。しかし!近年の年寄りはそれを裏切り、敬意を軽意に変えてしまった。いい歳になっても「若気の至り」が抜け切れないのだ。そために信号虫をして、整列乗車へ割り込みをして、優先席では携帯電話を掛ける。若者が見かねて注意すれば『年寄りをいじめるな!』と曰う。いじめているのはどっちか?近頃は真冬にも蚊が飛ぶが、年寄りも『蚊』わってしまったの『蚊』?私(ミスターX)は、折角、幾つも門松をくぐったのだから、それ相応の『らしく』『らしさ』が欲しいと思っている。「年寄りらしく」「年寄りらしさ」「若者らしく」「若者らしさ」何とも響きのいい言葉ではないか。「いい響き」のついでに『統合失調症らしく』『統合失調症らしさ』は無理だろうか?「らしく」「らしさ」には力みがないから、きっと統合失調症の彼(彼女)らに『合う』と思うのだ。是非、彼(彼女)らに「らしく」「らしさ」で生きて貰いたいし、生きさせてやりたい。最近私は、統合失調症って治す(直す)ものなのか?と真剣に考えるようになった。確かに幻聴、幻覚、妄想の苦しみは和らげてやりたいが、それ以上の『こうしろ』『ああしろ』(デイケア、作業所、自立、社会復帰)は、本当に彼(彼女)らに必要な事なのか?それは彼(彼女)らから「らしく」「らしさ」を強制的に取り上げる事ではないのか?親だから医療従事者だからと言って、彼(彼女)らから生きる根本を奪い去っていいのだろうか?この事をミスターXと一緒に考えてくれる方はおられますか?